

システム対応時の留意事項

新フォーマット切替における留意点

文字コードEBCDICでのデータ交換終了について
(システムメッセージ、生物由来製品卸販売、納入先変更情報)

新旧フォーマット並行稼働期間（～2027年11月13日）後、JD-NETセンターにて
ご利用可能な文字コードはSJISコードのみとなります。

**旧フォーマットを継続運用するデータ識別(※)についても、
文字コードをEBCDICコードからSJISコードに変更する必
要があります**のでご対応のほどよろしくお願いいたします。

※システムメッセージ、生物由来製品卸販売、納入先変更情報

詳細は次ページを参照ください

○全ての会員企業

- ・一度新フォーマットに切替えてからの旧フォーマットへの切替え（切戻し）は不可となります。
- ・新フォーマットでは全てShift-JISコードでの対応となります。
- ・8次システムサービス開始後に新規でサブコード/データ識別を追加する際は、新フォーマットでの運用をお願いします。
- ・新フォーマットの追加項目で利用するShift-JISは第1水準及び第2水準まで利用可能とします。
※旧項目で利用するShift-JISは現行と同様の文字コードとなります。

○EBCDICでデータ交換を行っている会員企業

- ・システムメッセージ、生物由来、納入先変更情報、といったデータ識別については旧フォーマットから変更はありませんが、文字コードについてはShift-JISコードへの変更が必要となります。
並行稼働期間終了後はEBCDICは使用できないためご注意ください。

○同業種間EDIをご利用中の会員企業

- ・新フォーマットへの切替はサブコードごと/データ識別ごととなるため、同じデータ種を同一サブコードで送受信している場合は受信/送信ともに同一のタイミングで新フォーマットへ対応させる改修が必要となります。

例) ・サブコード01 卸販売

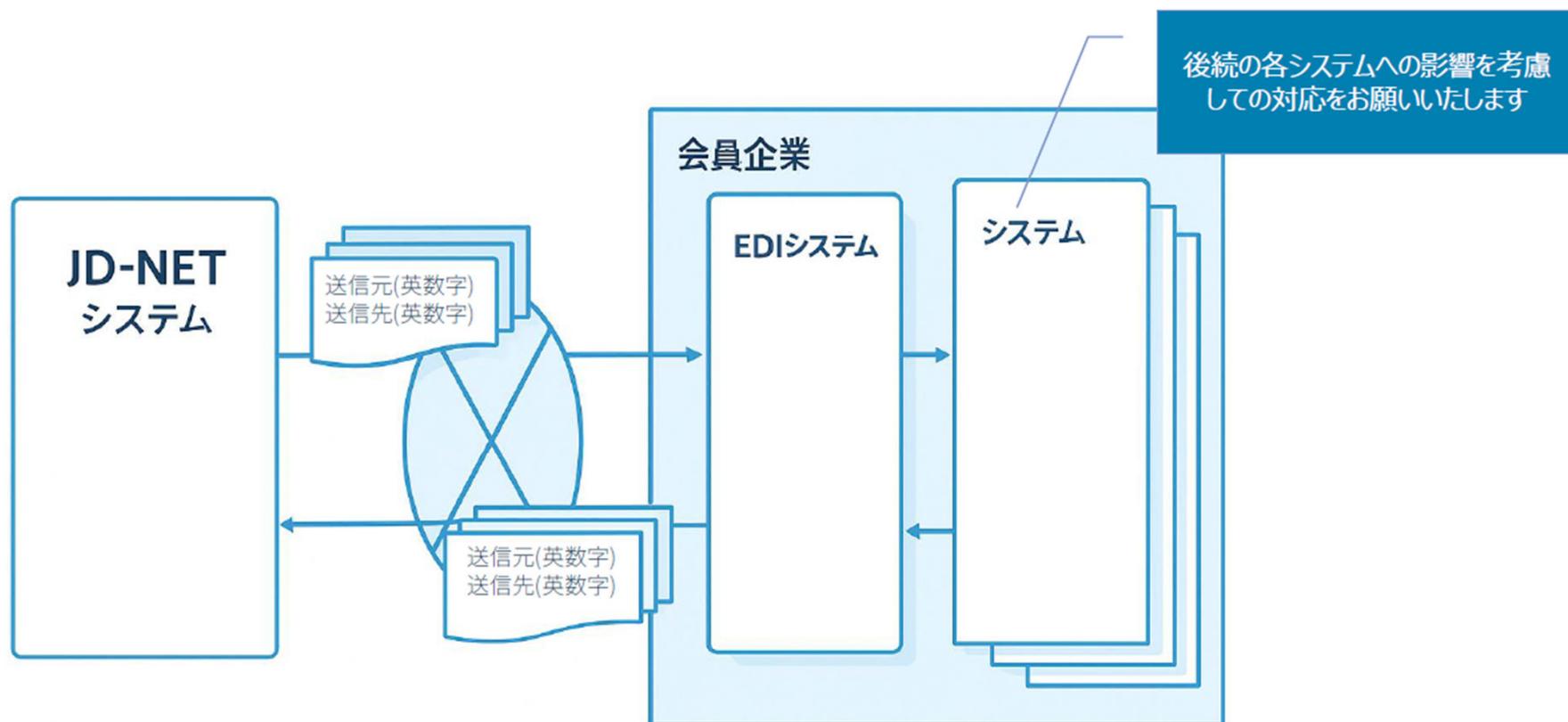
- ① 卸から卸販売データを受信
- ② メーカーに対して卸販売データを送信

⇒サブコード/データ識別単位でのフォーマット切替となるため、受信/送信ともに同一のタイミングで新フォーマット切替が必要

新フォーマット切替における留意点

企業コードのアルファベット利用開始について

新旧フォーマット並行稼働期間（～2027年11月13日）後、企業コードの枯渇に対応するため、**企業コード（会員コード）のアルファベット利用を開始します。各連携先システムへの影響有無を必ずご確認のうえ、対応をお願いいたします。**



(参考)

企業コードのアルファベット利用開始について

● 基幹EDI(Sレコード)

(1) Sレコード

NO.	項目	バイト数	データタイプ	内容説明
1	レコード区分	1	固定文字	S: Sレコード
2	データ識別	2	英数字	1サブファイル内のデータ内容を識別するコード データ識別コードについては、「1.4 統一データフォーマット一覧」を参照して下さい。
3	空白	1	英数字	半角スペースもしくは任意の英数字
4	送信元コード	5	英数字	XXX XX 企業コード サブコード
5	空白	1	英数字	半角スペースもしくは任意の英数字
6	送信先コード	5	英数字	XXX XX 企業コード サブコード
7	サブファイルSEQNO.	4	右詰数字	1ファイル伝送単位内に含まれる、サブファイル毎にSEQNO.を付与します。
8	データ作成日付	12	数字	伝送ファイル作成時に付加します。 YY MM DD HH MM SS 年 月 日 時 分 秒 (年は西暦下2桁を使用します。)
9	データ月度	4	数字	伝送相手先に対するサブファイル内データの対象月度 YY MM 年 月 (年は西暦下2桁を使用します。)
10	最終データ区分	1	文字	データ締切日の最終データ伝送区分とし、企業間で任意に利用します。
11	物理レコード・サイズ	3	右詰数字	1ファイル伝送単位内の1件の物理レコード長
12	論理レコード・サイズ	3	右詰数字	1物理レコード内の1論理レコード長
13	空白	1	スペース	(受発注データ再格納処理で "*" が設定されます。)
14	同報フラグ	1	文字	1: 全同報 (異業種) 2: 指定同報 3: 全同報 (全業種) 4: 全同報 (同業種) 半角スペース又は0: 同報を使用しない場合
15	半角	1	スペース	半角スペース
16	送信元企業区分	4	数字	1000: 卸 2000: メーカー
17	送信先企業区分	4	数字	1000: 卸 2000: メーカー
18	FILLER	189	スペース	半角スペース

250バイト/レコード

上記No.1~18までが旧フォーマットより継承される項目

新フォーマット追加項目

19	物理レコード・サイズ新	4	右詰数字	1ファイル伝送単位内の1件の物理レコード長
20	論理レコード・サイズ新	4	右詰数字	1物理レコード内の1論理レコード長
21	FILLER	742 もしくは 1242	半角スペース	半角スペース ※Dレコードのレコード長に合わせて742もしくは1242を設定します。

(受発注データのみ) 1500バイト/レコード

(受発注データ以外) 1000バイト/レコード

Sレコード・Hレコードにて利用している送信元コード・送信先コードの企業コードについて、新フォーマット切り替え完了後アルファベットを含む英数字での運用が開始されます。

● Web-EDI(Hレコード)

(1) データレコード

NO.	項目	桁数	データタイプ	内容説明
1	レコード区分	1	固定文字	H: Hレコード
2	データ識別	2	英数字	1サブファイル内のデータ内容を識別するコード データ識別コードについては、「1.3 統一データフォーマット一覧」を参照して下さい。
3	送信元企業区分	4	数字	1000: 卸 2000: メーカー
4	空白	5	数字	nullもしくは任意の英数字
5	送信元コード	5	英数字	XXX XX 企業コード サブコード
6	送信先企業区分	4	数字	1000: 卸 2000: メーカー
7	空白	5	数字	nullもしくは任意の英数字
8	H 送信先コード	5	英数字	XXX XX 企業コード サブコード
9	D サブファイルSEQNO.	4	右詰数字	1ファイル伝送単位内に含まれる、サブファイル毎にSEQNO.を付与します。
10	データ作成日付	12	数字	伝送ファイル作成時に付加します。 YY MM DD HH MM SS 年 月 日 時 分 秒 (年は西暦下2桁を使用します。)
11	データ月度	4	数字	伝送相手先に対するサブファイル内データの対象月度 YY MM 年 月 (年は西暦下2桁を使用します。)
12	最終データ区分	1	文字	データ締切日の最終データ伝送区分とし、企業間で任意に利用します。
13	同報フラグ	1	文字	1: 全同報 (異業種) 2: 指定同報 3: 全同報 (全業種) 4: 全同報 (同業種) 半角スペース: 同報を使用しない場合 ※Web-EDIでは、2: 指定同報は使用できません。
14	D データ	-	-	各データ識別の指定内容に従います。 「1.4 統一データフォーマット」を参照して下さい。
15	改行コード	2	-	各レコードの末尾に改行コード (CRLF) を付与します。